

公民館子ども教室に参加しませんか

敷戸校区公民館には三つの子ども教室があります。まだ少し余裕があります、どうぞ参加ください。

*子ども将棋教室

第二、四土曜日一〇時～ 和氣 市夫先生
将棋が強くなりたい子、待ってます。

*子ども手話教室

第一、三水曜日一五時半～ 倉掛 紀美代先生
楽しく手話を習いましょう。

*子ども英語教室

第二、四水曜日一五時半～ 金子 清子先生
皆さんが英語に慣れる手助けをします。
(小五生のみ)

おやつ作りと絵本とあそぶ会

時 毎月最終火曜日 10 時
所 敷戸校区公民館別館
子どもと一緒に保護者も
ゆっくりゆったり過ごせる
ひとときです。

「どんぐり文庫」

毎週月、水、金に公民館 2 階
の児童室を児童図書を楽しむ
場所として開放しています。
たくさんの絵本、児童書が待
っています。
ご利用ください。

里の暮らし (15)

ようやく梅雨が明けた。梅雨明け十日と言われるようにこの時期は晴天続きで、じりじりと太陽が大地を焦がす。ミンミンゼミの声を耳にしながら木陰でひと休み。汗ばんだ体を通り抜ける涼風にしばし猛暑を忘れる。

するとパサパサ羽音を立てながらオニヤンマが頭上を横切る。国内最大のトンボだ。開けっ放しの座敷にスッと入り、パトロールしては出て行く勇姿に誰もが親しみをを感じる。

伸びた畦草を草刈機で刈っていると、どこからともなく無数の赤とんぼが集まって来て辺りを飛び交う。草むらから慌てて飛び出した小虫を捕食するためだ。

赤とんぼは、日本の田園風景に良く似合っている。夕焼け小焼けの…には、何となく郷愁を感じるものだ。何種類かいる赤とんぼのうちアキアカネはその代表だ。田植えで水田に水が張られると、卵から孵り幼虫つまりヤゴの時代を田んぼで過ごし、梅雨の終わりに成虫に羽化する。

真夏の間は暑さを避け高山で過ごし、盆過ぎに里に下りてくる。子供たちは赤とんぼを精霊とんぼと呼び、先祖がとんぼに姿を変えて戻ってくると教えられた。稲刈りが終わった田んぼに、赤みを増したオスが前、メスが後ろの二連とんぼが見られ、交尾を終え田んぼに産卵し一生を終える。

お知らせ 子育てサロン「つくしんぼ」は九月一四日(月)から再開

します。どうぞ参加ください。

敬老の日施設優待券を配布しています

配布期間 八月一九日(水)～九月三〇日(水)

配布場所 敷戸校区公民館事務室

*本人又は代理人に窓口配布します。年齢証明が必要です。